

鎮靈詞（水子）

これの小床を清々しく被い清めて只今静かにお迎
え申しました△△△の水子之靈に慎んで御願ひ申
し上げます

思えば汝が靈は年変わり青葉の緑も漸く濃く色づ
く頃この世に明るく健やかな産声を挙げられむも
のと家族一同楽しみに致しておりましたのに 汝
が靈が母親の思いもよらぬ大節から出生の喜びを
見ることなく去る○月○日未だ二ヶ月の水子の
まま惜しくも出直されましたことは 誠に申し訳
なく心からお詫び申し上げます

幸い母親はまだ春秋に富み人生を通り直せる二十
三歳の若さ故この悲しき出直しの節から鮮やかな
芽を出すべく 親神様の御教えを人生航路の羅針
盤とし如何なる逆境の中も人たすけ一条に明るく
お通り下された教祖を身近に拝し人の為世の為に
真心の限りを尽さむものと固く心を定めておりま
すが 汝が靈は心持ちよく衣を換え改めて来世を
迎えられ命長く思召通りの陽気ぐらしの人の世を
心ゆくまでお味わい下さいますよう 露けき袖の
涙をしばりつつ一同と共に慎んで御祈り申し上げ
ます